八千代オイコス　米づくり体験　わら遊び

伝統民俗行事 「わら蛇作り＝ツジ（辻）ギリ」を作る

2023.11.19（火）八千代市農業交流センター

辻切りは、悪霊や病気が村に入るのを防ぐための民俗行事です。 各村の出入口にあたる四隅の辻を霊力によって遮断することからこの名がつきました。 遮断する方法は、千葉県の南部では、しめ縄を道に張る方法が多く、北部では藁（わら）で大蛇を作ってその呪力によって追い払う方法がとられています。

毎年 1 月 25 日に佐倉市井野で行われる、藁で作った大きな蛇を村境の木の上に取り付けて睨みをきかせ、災厄や疫病などが外部から侵入するのを遮ることを目的とした民俗行事です。
蛇は、昔からの決まりに従って、「ネンバン」または「ヤドモト」と呼ばれる家が世話係となり作られます。全長 2 間半ほどの大きな蛇（大辻）は村境 6 か所の木に掛け、小さな蛇（小辻）は各家の戸口に掛けます。
県内でも蛇を掛ける辻きりは、ここ井野と市川市や船橋市、八千代市の旧村に伝わるだけで、重要な伝統行事といえます。八千代市では、勝田、桑橋などでも見かけます。

八千代市高本

銚子市小浜町

佐倉市井野

市川市国府台の神事・辻切りの製作風景

市川市では昔は国府台、国分にかけて盛んに行われていましたが、世相の移り変わりとともに次第に姿を消し、国府台のみとなりました。毎年 1/17 に天満宮境内で行われ、藁で2mほどの大蛇を4体作り、お神酒を飲ませて魂入れをして街の四隅にある木に頭を外に向けて結び付けます。